



# 邪気払い 七福邪鬼めぐり

約7km(約2時間)の「鬼怒川温泉街」散策

鬼怒川温泉で邪気を払い、福を招く！



一般社団法人 日光市観光協会



## 鬼怒川温泉

### 「鬼怒川」の由来



其の 1

昔、栃木県や群馬県が「毛野国(けのくに)」と呼ばれていた頃、そこを流れている「毛野川(けぬかわ)」が訛って、きぬがわ(鬼怒川)となったという説。

其の 2

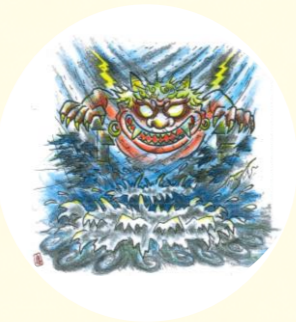
大雨等により洪水が起ると、まさに鬼が荒れ狂ったように激流になって流れることから、鬼怒川になったという説。

其の 3

昔、この辺りでは絹織物の生産が盛んで、よく川で「絹織物」を洗っていたことから「絹川(きぬかわ)」と呼び、いつしか「鬼怒川」になったという説。

其の 4

鬼怒川の上流にある、川の水源地が、栗山地区にある「鬼怒沼(きぬぬま)」であることから、鬼怒沼から流れ出る川、「鬼怒川」と名付けられたという説。



### 鬼怒川温泉の泉質・効能

泉質：アルカリ性単純温泉  
特徴：無味無臭・無色透明、肌への刺激が少ないので、別名『美肌の湯』とも呼ばれます。  
効能：やけど・神経痛・関節痛・冷え性・疲労回復など



**1 たてき 楯鬼**

自らが楯となり、鬼怒川温泉を守り、明日へ継ぐ様子を表現しています。



**鬼怒楯岩大吊橋(吊り橋)**

平成21(2009)年7月19日(日)、鬼怒川温泉の新たな名所として誕生しました。

鬼怒川温泉街と名勝楯岩を結ぶ長さ約140mの歩道専用の吊橋で、橋上からは約37m下の渓流を下るライン下りや四季の彩りに染まる山々を眺めることができます。(栃木県内の吊橋の中で第2位の長さです。)

■スタンプ台 鬼怒楯岩大吊橋右岸

**2 りつき 立鬼**

仁王のごとく立ったたくましい姿で、鬼怒川温泉の入り口を守っています。



**立岩橋**

■スタンプ台 立岩橋左岸

昭和38(1963)年に鬼怒川バイパスの完成に伴い開通しました。

上流には鬼怒川ライン下りの乗船所があり、下流には高さ100mの巨岩「楯岩」がそびえ立ち、その下を鬼怒川ライン下りの船が下っていく様子は鬼怒川で随一の名勝地として知られています。

**立岩橋(アーチ橋)**

**3 じょういんき 定印鬼**

人とは逆に、鬼は足で合掌し、腕を組んで定印を結び、皆様の「幸せ」を祈っています。



**ふれあい橋**

■スタンプ台 ふれあい橋右岸

平成11(1999)年、歩行者専用の鬼怒川温泉のシンボル橋として誕生しました。

橋の左岸側に設けられた階段には、高さ45mの巨大絵「鬼怒太」が、橋を見下ろすように描かれています。

**ふれあい橋(フィーレンディール橋)**

**たんじょうき 誕生鬼**

縁結びと子宝を願うすべての人々の想いを象徴しています。



鬼怒太の誕生地。

展望台からは鬼怒川温泉街と高原山系(鷲頭山)が一望できます。

**橋岩展望台**

**鬼** 昭和39(1964)年10月に現在の場所に駅舎が移され、平成18(2006)年3月18日に、開業しました。



**鬼怒川温泉駅**

**きぬた 鬼怒太**

誰からも愛されるような鬼怒川温泉のマスコットになってほしいと願いを込め、強さの中にも可愛らしさのある子供の鬼として、平成18(2006)年3月に誕生しました。



■鬼怒川温泉駅前広場(押印済)

**鬼怒川温泉** スタンプラリーの標準コースご案内

区間	距離	時間
スタート	約0.8Km	約12分
1 鬼怒楯岩大吊橋	約0.4Km	約6分
2 立岩橋	約1Km	約15分
3 ふれあい橋	約0.6Km	約9分
4 くろがね橋	約0.5Km	約8分
5 滝見橋	約0.7Km	約10分
6 鬼怒岩橋	約0.7Km	約10分
ゴール	約0.9Km	約14分

約7km 約2時間

邪気払い!! スタンプを集めて鬼怒川温泉をぐるっと一周!



至 龍王峡・川治方面

至 今市・日光の社寺方面

**鬼怒川温泉街** 松原公園、橋岩公園、さくら並木通り、日光市藤原行政センター、日光市消防本部、日光市藤原消防署、日光市銀行、日光市交番、郵便局、SL 転車台、鬼怒川温泉駅、鬼怒川公園、鬼怒川文小学校、仲附の旅籠(郷土資料館)、大滝観瀑台、大滝河川遊歩道、鬼怒川公園、鬼怒川公園、鬼怒川公園

**鬼の階段絵** 鬼怒太の階段アート(高さ約45m)が階段に描かれています。

★ 鬼怒川・川治温泉観光情報センター(東武鉄道「鬼怒川温泉駅」向かい)(一般社団法人日光市観光協会 鬼怒川・川治支部)

● 無料駐車場 ● 有料駐車場

[5から誘導案内システム]

●●● 信号機番号表示

10 鬼怒川・川治温泉の各施設へは信号機についている番号表示をご参考にお越しください。

**4 ゆうしんき 遊心鬼**

紅一点の女の子の像で鬼怒太の妹の「鬼怒子」です。鬼怒川温泉にお越しただいた皆様にも明るく過ごしていただきたいと願いを込めて、楽しくリラックスした様子を表しています。



**くろがね橋**

■スタンプ台 くろがね橋上

大正3(1914)年に架設された鬼怒川温泉発展の基礎を築いた橋であり、その変遷に鬼怒川温泉の歴史が秘められています。

当時は鋼鉄製の橋は日本でも珍しく、昔から金は「こがね」、銀は「しろがね」、銅は「あかがね」と言われていることから、鉄「くろがね」でできていた橋のため「くろがね橋」と名付けられました。

**くろがね橋(トラス橋)**

**5 いいき 思惟鬼**

ほおづえを突いている姿はさらに豊かな鬼怒川温泉になるように、明るい未来の展望を考えている様子を表しています。



**滝見橋**

■スタンプ台 滝見橋右岸「滝見公園内」

架けられた年は不明ですが、鬼怒川温泉街の北にある昔ながらの温泉風情が感じられる吊り橋で、揺れる橋の上からは、鬼怒川の清流と溪谷美が一望できます。

以前は一度に10名までしか渡ってはいけないという厳しい人数制限がありましたが、現在では30名まで渡れるようになりました。

**滝見橋(吊り橋)**

**6 はんかき 半跏鬼**

ゆったりと立て膝をしてくつろぐ姿は、やすらぎの温泉郷を象徴しています。



**鬼怒岩橋**

■スタンプ台 鬼怒岩橋右岸

鬼怒川温泉街の最北部に架かる橋で、昭和38(1963)年に完成しました。

橋の下を流れる滝は、昔から「大滝」と呼ばれていて、地元では滝の上流部を「上滝」、下流部を「下滝」と呼び、地域内居住区の呼称として現在も使われています。

**鬼怒岩橋(桁橋)**